

第4回広島県CALS/ECC連絡協議会 議事録

日時：平成16年10月29日（金） 10:00～12:00

場所：県庁本館 6階講堂

1 電子納品事前登録結果及び今後の対応について

（受注業者関係）

- ・電子納品の試行について、今年度はトーンダウンせざるを得ない状況とのことです、これが来年度以降の取組への影響はないのでしょうか。

事務局：当初、電子納品案件については、事前登録いただいた業者への指名、落札により実施することとしておりました。しかし、事前登録業者が少数により、その参加業者のみによる入札が困難となりまして、結果として事前登録業者への発注済工事への変更対応との併用で実施せざるを得ない状況になりました。この部分が、当初予定からの変更ということになりますが、来年度以降は、研修等による業者の方への普及促進を充実し、より多い業者の方の参加が出来る環境づくりを行いたいと考えております。このようなことから、基本方針を転換するのは、今年度のみにしたいと考えております。

2 電子入札等の業者説明会等の結果（報告）について

（受注業者関係）

- ・説明会時に、業者さんから何か質問はありませんでしたか。

事務局：質問は次のようなものがありました。

Q1：国交省のものは、そのまま使えるのか。

A1：使えます。

Q2：現在パソコンを所有していないが、購入の際補助金は出ないのか。

A2：市商工の方と別途検討したい。

Q3：ブロードバンドの環境が整っていない中山間地域において、電話回線によるインターネット接続で使用することはできるのか。

A3：使えます。また、現在県の情報政策室の方で、ネットワーク整備を取組んでおり、そう遠くないうちに全体の環境が整うと考えている。

- ・このシステムには、広島市は参加していないのですか。

事務局：広島市の場合、電子入札のシステムと内部システムを一体で開発しているので、参加されません。ただし、コアシステムを使っているので、使用機械やICカードは共通で使えます。

広島市：事務局の説明のとおりです。

3 電子入札等システムの概要について

（受注業者関係）

- ・電子入札の開始が11月15日からという説明であったが、全面的に電子入札が導入されるのは、いつ頃からなのか。

事務局：全面的に電子入札を開始する時期につきましては、現在のところ明確に設けていません。普及状況を見ながらということになります。

- ・例えば広島県のICカードを持っていれば、福山市のシステムにも共通として使えるのか。また、会社に支店や営業所がある場合、支店等で1枚あればよいのか。あるいは、権限委譲していることを考えれば、ICカードを何枚か同じものを持っていると解釈すれば良いのか。

事務局：福山市も共通で使えます。ちなみに、コアシステムを使っているところは、すべて共通です。支店や営業所におけるカードの取扱いについては、自治体によって異なります。このことにつきましては、発注者側が、今後統一していく必要があると考えております。

- ・ 中国 5 県における電子入札の実施状況を教えていただきたい。
事務局：岡山県は、一昨年 4 月から実施しています。また、山口県においても現在構築中で、来年頃から試行を考えていると聞いています。ただ、岡山県以外の県はコアシステムを採用すると聞いています。また、市町村でいえば、下関市が横須賀方式を採用しています。
広島市：電子入札については、来年 4 月から実施ということで準備を進めております。また、電子納品につきましては、近々あまり無理のない形で試行を始めたいと考えております。これらは、マスコミやホームページでお知らせしたいと考えております。
- ・ 電子入札について、地震等の突発的な事態によりネットが使えなくなったりした時の対応について、教えていただきたい。
事務局：発注者側でいうと、非常電源を設備に置いてありますので、システムそのものが止まることは、めったにないと考えております。受注者側からすると、カードが壊れたり、失効したり、パソコンが壊れて使えなくなったりすることが想定されます。その時は、基本的に紙に切り替えることでの対応となります。このあたりは、国の運用と同じですが、具体的に規約に書かれています。

4 C A L S / E C 普及促進について (受注業者関係)

- ・ アンケート中の格付けについて、回答方法を明確に記載してもらいたい。
センター：皆さんにアンケートをお配りする前には、その辺りも検討して上でお配りします。